

【外傷領域医療機器】新製品のお知らせ

体内固定用プレート「OLSA」

- 「OLSA」は、大腿骨転子部骨折における後外側骨片の把持・固定を目的とし、ショートフェモラルネイルと併用する国内初の医療機器です。

KiSCO株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:中路 歩、以下「KiSCO」)は、2019年11月26日付で体内固定用プレート「OLSA」の製造販売承認を取得しました。

大腿骨転子部骨折においては、標準的な治療法として太い釘(ショートフェモラルネイル:SFN)を挿入して、ネジで固定する治療が一般的ですが、近年、3D-CTの普及に伴い後外側骨片(転子部骨折における後方の骨のかけら)が存在し、骨癒合遅延など成績不良の原因とされております。

この後外側骨片は、標準的な治療方法であるSFN単独では治療が困難であり、また、後外側骨片の把持・固定を目的としたSFNと併用可能な医療機器はありませんでした。

「OLSA」は、後外側骨片の存在に着目し、SFNと併用でき、大腿骨転子部骨折における後外側骨片の把持・固定を目的とした国内で初めての医療機器として開発されました。簡便な設置で後外側骨片を固定することで、治療成績の向上が期待できます。

KiSCOは、本製品が新たに加わることで、より幅広い医療ニーズに対応が可能となり、患者さん、医療関係者に貢献できると考えています。今後も革新的な製品開発による市場創造を通じて、世界の人々の健康に貢献してまいります。

<OLSAの概要>

一 般 名 称	体内固定用プレート
販 売 名	オルサ トロカンテリック サポートシステム (医療機器承認番号:30100BZX00231000)
使 用 目 的	大腿骨転子部骨折における後外側骨片の把持・固定を目的としたプレートである。
承 認 日	2019年11月26日

<OLSA 製品写真>

<製品イメージ>

製品写真	製品イメージ
	